

令和元年度 世界史A・世界史B (50分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりである。

出題科目	ページ	選 択 方 法
世界史A	1～24	左の2科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。
世界史B	25～48	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 4 試験開始の合図前に、監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に以下の内容をそれぞれ正しく記入し、マークすること。

・①氏名欄

氏名を記入すること。

・②受験番号、③生年月日、④受験地欄

受験番号、生年月日を記入し、さらにマーク欄に受験番号(数字)、生年月日(年号・数字)、受験地をマークすること。

・⑤解答科目欄

解答する科目名を○で囲み、さらにその下のマーク欄にマークすること。

- 5 受験番号、生年月日、受験地が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 6 解答科目が正しくマークされていない場合は採点できないので、必ず正しくマークすること。
- 7 解答は、解答用紙の解答欄にマークすること。例えば、

10

と表示のある解答番号に対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の②にマークすること。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④

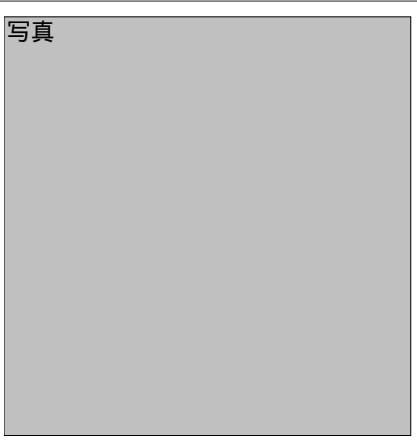
- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってよい。

世 界 史 A

(解答番号 ~)

1 次の文章と図版に関連して、問1～問2に答えよ。

高校生の三浦さんは、鎌倉大仏の歴史について調べて次のパネルにまとめ、授業で発表した。

<p>鎌倉大仏(高德院)</p> <p>造立 <small>ぞうりゅう</small> 13世紀半ば。大仏造立の経緯や寺院の開基、像の制作者など詳しいことはわかっていない。</p> <p>素材 <input type="text" value="A"/> でつくられており、素材として中国銭(宋銭)も使用されたことが判明している。</p>	<p>写真</p> 
---	---

安達さん： 素材に宋銭が使われているとは、どういうことですか。

三浦さん： 輸入された宋銭は、貨幣としてではなく、 という金属として、溶かされて材料に使用されました。

安達さん： 銭が単なる金属として扱われるなんて、驚きました。経済や貿易と宗教事業は、いろいろな関係のしかたがあるのですね。

三浦さん： 鎌倉大仏が造立された当時の世界では、 ように、どの地域でも宗教と社会は複雑な動きをしていました。

安達さん： それにしても、なぜ宋銭は金属素材として扱われるほど日本に入ってきていたのですか。

三浦さん： 当時の中国では紙幣が流通したので、余った銭が輸出されるようになっていたからです。でも、本来中国では、通貨として用いる金属の量が十分ではなかったもので、時代や地域によっては、逆に輸入することもありました。一部の地域では、清代に日本の寛永通宝が輸入されて、貨幣として流通していたそうです。^(a)

問 1 に当てはまる語句と、 に当てはまる文との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

	<input type="text" value="A"/>	<input type="text" value="B"/>
①	銀	サファヴィー朝が、シーア派を国教とした
②	銀	ローマ教皇のよびかけで始まった十字軍の遠征が行われていた
③	銅	サファヴィー朝が、シーア派を国教とした
④	銅	ローマ教皇のよびかけで始まった十字軍の遠征が行われていた

問 2 下線部分清代に日本の寛永通宝が輸入されて、貨幣として流通していたとあるが、当時、^(a)日本の貨幣はどのようにして輸入されたと考えられるか。考えられる事柄について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 改革開放政策によって貿易が拡大し、輸入されるようになったと考えられる。
- ② 中国に派遣された朝貢使節が、金印を授かる代わりに献上したと考えられる。
- ③ 江戸幕府が管理する長崎との間の貿易を通じて輸入されたと考えられる。
- ④ 室町幕府との間の勘合貿易によって輸入されたと考えられる。

2 次の文章と図版に関連して、問1～問4に答えよ。

高校生の鈴木さんは、旅行ガイドブックに載っていた世界遺産について、興味を持った2か所について調べ、次の資料1・資料2にまとめた。

資料1 ポンペイ

イタリアのポンペイは、ウェスウィウス火山の噴火で、街全体が火山灰の下に埋もれてしまったローマ時代の都市です。発掘調査によって、長年地中深くに埋もれていた個人の住宅や、神殿、浴場、闘技場などの公共施設が出現し、当時の豊かな都市生活が浮かび上がりました。貴重な考古学遺産として、ポンペイは世界遺産に登録されています。邸宅「ファウノの家」から出土したのが、傑作として知られるアレクサンドロス大王^(a)のモザイク画(右下の写真、部分)です。

写真



資料2 アンコール=ワット

カンボジアのアンコール=ワットは、世界遺産に登録されているアンコール遺跡群の中で、最大の規模を誇る寺院です。12世^(b)紀にアンコール朝の王スールヤヴァルマン2世(右下の写真、寺院内のレリーフ)によって、30年以上の歳月を費やして建設されました。本来は、ヴィシュヌ神をまつる **A** の寺院でしたが、後に仏教寺院となっています。見どころは、回廊に彫り込まれた、古代インドの叙事詩『マハーバーラタ』『ラーマーヤナ』などを題材にしたレリーフの数々です。



写真

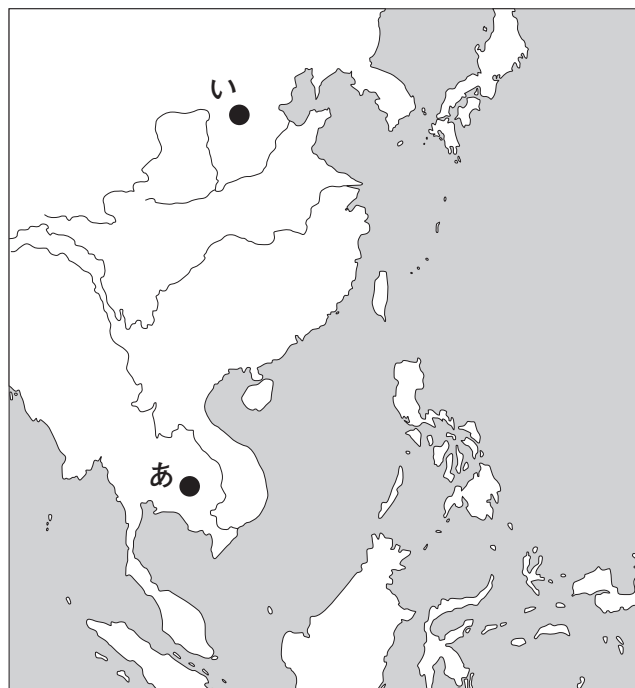
問 1 資料 1 のポンペイは、紀元 1 世紀の火山噴火によって埋もれてしまったが、噴火当時のローマ帝国のようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「パクス＝ローマーナ」とよばれる繁栄の時代を迎えていた。
- ② 「諸国民の春」とよばれる状況が生まれた。
- ③ 三圃制の普及により、農業生産力が増大した。
- ④ 工場法が制定され、労働者の生活の改善が目指された。

問 2 下線部分アレクサンドロス大王の東方遠征を契機として起こった、文化史上の変化について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① ルネサンスとよばれる文化運動が起こった。
- ② 大量消費社会が到来し、新たな大衆文化が生み出された。
- ③ 諸子百家とよばれる様々な学派や思想家が活躍した。
- ④ ギリシア文化とオリエント文化が融合したヘレニズム文化が生まれた。

問 3 資料 2 のアンコール=ワットの略地図中のおよその位置と、**A** に当てはまる語句との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **5** 。



	位置	A
①	あ	イスラーム教
②	あ	ヒन्दゥー教
③	い	イスラーム教
④	い	ヒन्दゥー教

問 4 下線部分 12 世紀 の東アジアのようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **6** 。

- ① アッシリアが、オリエントを統一した。
- ② 金が、北宋を滅ぼした。
- ③ 日露戦争がおこった。
- ④ タンジマート(恩恵改革)が行われた。

